

# 次期幕別町総合計画 町民アンケート調査結果

町の今後10年間(平成30年度～平成39年度)のまちづくりの指針となる「幕別町総合計画」の策定にあたり、広く町民の皆様の意向を把握し、計画に反映することを目的に「町民アンケート」を実施いたしました。5月・6月号に続き、調査結果をお知らせします。

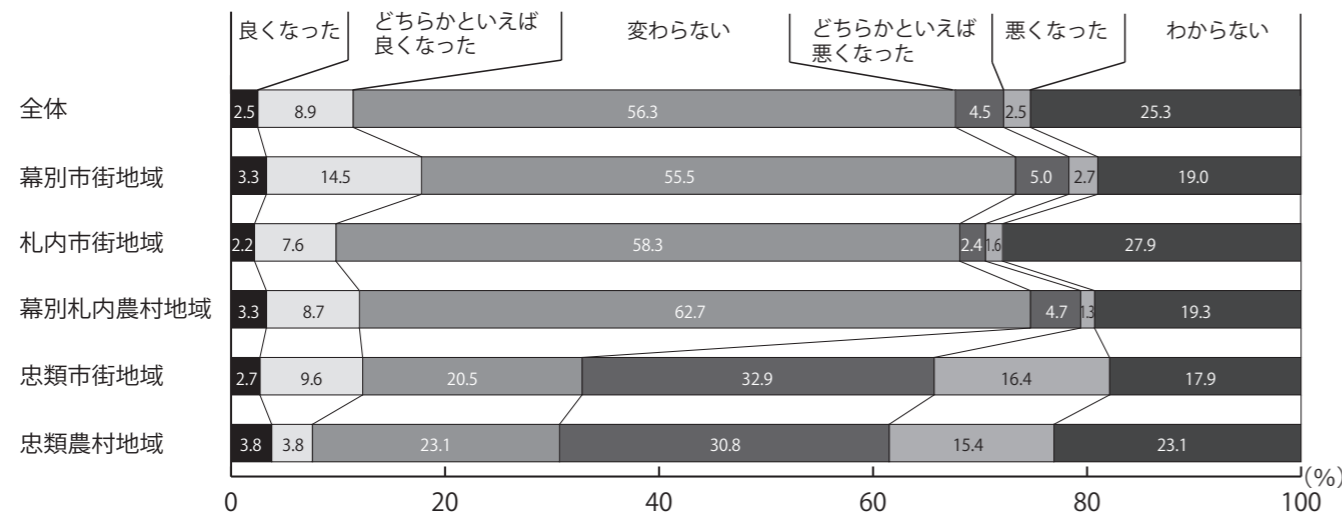


## ▶調査内容

- ①基礎調査について ②現在の生活環境について ③これからの居住について ※①～③は5月号で掲載
- ④これからの幕別町について ⑤まちづくりアイデアについて ※④・⑤は6月号で掲載
- ⑥幕別町合併10年について ※今月号でお知らせ

## ⑥幕別町合併10年について

問1 合併してから住んでいる地域はどのように変わったと思いますか？



問2 合併してよくなったと感じることは何ですか？  
(4つまで選択可)

- ①幕別地域と忠類地域の間での交流が増えた。(40.2%)
- ②広報紙やHPなどによる情報発信が増えた。(29.4%)
- ③町の知名度が向上した。(29.3%)
- ④イベントなどが活発に行われるようになった。(17.1%)
- ⑤様々な公共施設を利用しやすくなった。(14.3%)
- ⑥町としての一体感が高まった。(13.7%)

※全体での回答の多かった項目を記載

問3 今後改善してほしいことは何ですか？  
(4つまで選択可)

- ①税や各種費用などの負担が増えた。(25.5%)
- ②町内において地域格差が広がった。(22.7%)
- ③町としての一体感が薄れた。(22.1%)
- ④行政への関心が薄れた。(19.2%)
- ⑤役場が身近に感じられなくなった。(17.5%)
- ⑥役場の窓口が細分化されてわかりにくくなった。(15.8%)

※全体での回答の多かった項目を記載

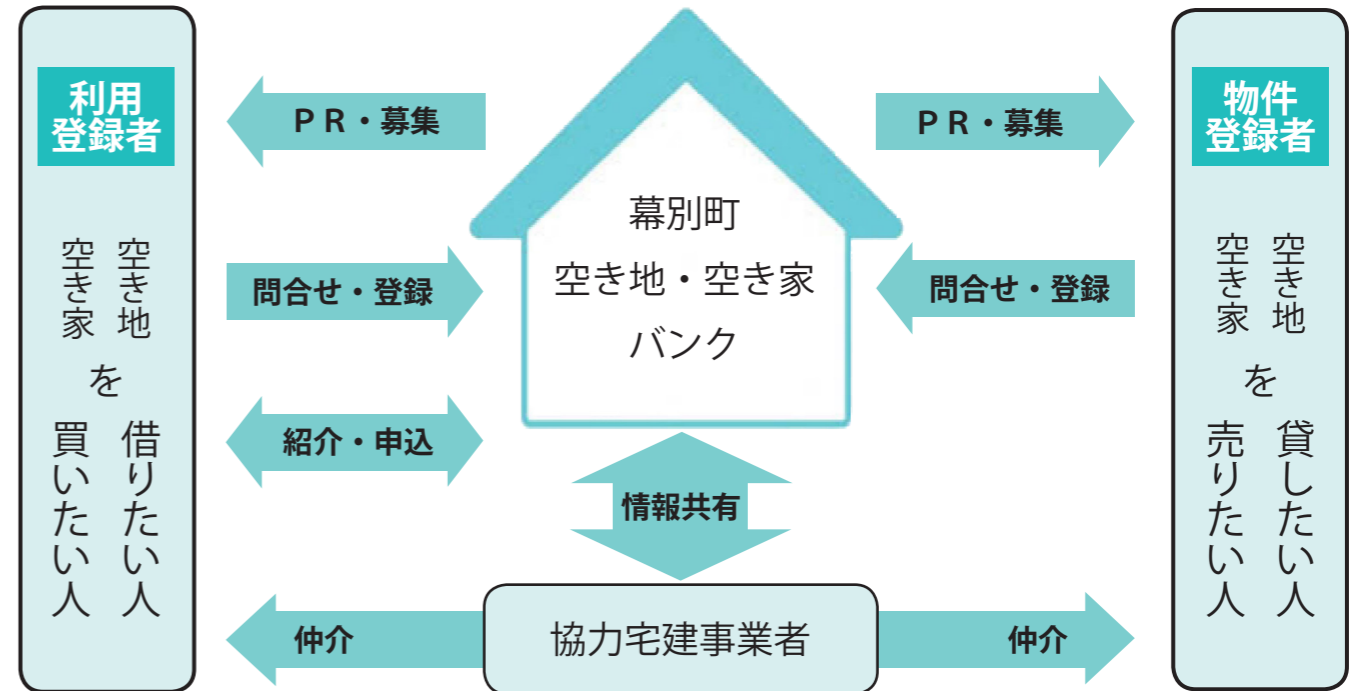
問1の「合併してから住んでいる地域はどう変わったか」という問いに対しては、幕別市街地域と忠類農村地域の間での交流が増えた40.2%と最も高く、居住地別の結果は示していませんが、「幕別市街地域45.8%」「忠類市街地域48.3%」「忠類農村地域56.3%」の高い数値を示しました。

問3の「今後改善してほしいことは何か」という問いに対しては、「税や各種費用などの負担が増えた25.5%」と最も高く、居住地別の結果は示していませんが、「幕別市街地域25.5%」「忠類市街地域22.7%」「忠類農村地域22.1%」の数値を示しました。

## 幕別町合併10年について

# 空き地・空き家バンクがスタート 住まなくなった家を登録しませんか？

幕別町空き地・空き家バンクは、町が窓口となって町内にある空き地・空き家の情報を収集・提供し、移住・定住の促進や地域活性化を図ることを目的とした制度で、4月からスタートしています。



- ①登録情報の確認  
町ホームページ等のバンク情報の確認
- ②利用者登録  
物件の詳細情報を取得の場合は、利用者登録申請書を町に提出
- ③物件の確認  
物件の詳細情報を協力宅建事業者が提供し、実際の物件を確認
- ④交渉・契約  
物件は、協力宅建事業者が仲介し交渉や売買、賃貸借等の契約を締結

- ①物件登録申請書等の提出  
物件登録申請書、バンク登録カード、登記事項証明書、位置図(間取り図)、物件写真、物件の納税証明書等を提出
- ②書類・物件の確認  
書類内容と現地調査での確認
- ③審査・登録  
台帳に登録
- ④情報発信開始  
物件情報を町ホームページで公開、北海道空き家情報バンクと連携

空き地・空き家バンク利用の流れ

空き家を放置しておくとお老朽化が進み、景観や地域の安全を損ねるおそれがあるので、所有者の方は適正な管理をお願いします。

☎ 住民生活課 住民活動支援係 ☎ 54-6602